

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	化学	学年	第3学年	類型	II型理系
単位数	3単位	教科書	高等学校 化学 (第一学習社)				
補助教材	「セミナー 化学基礎+化学」 (第一学習社) 「化学基礎・化学実験ノート」 (愛媛県高教研理科部会化学部門)						

学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を培うとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期考査	
1学期	4月	第4編 有機化合物	有機化合物の分類と特徴を理解する。 芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンなどの性質や反応について、実験を通して理解する。  反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。  可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。	中間考査	
	5月	第1章 有機化合物の特徴と分類			
	6月	第4章 芳香族化合物			
	7月	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さ			
2学期	8月	第5編 高分子化合物	水のイオン積、pH及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。  繊維や食物を構成している代表的な天然高分子化合物について理解を深める。  合成繊維及びプラスチックなど、身近な合成高分子化合物について理解を深める。	中間考査	
	9月				第1章 高分子化合物の性質
	10月				第2章 天然高分子化合物
	11月				第3章 合成高分子化合物
	12月				
3学期	1月			学年末考査	
	2月				
	3月				

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。原子や分子などの非常に小さな粒子について学ぶ際には基本的な概念や原理・法則を理解していくことが必要ですが、単に暗記するだけでなく、なぜそうなるのかを考え、系統立てて学習していくことが大切です。日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		